完了後の評価個表

整理番号	森１－１

事　　業　　名	森林居住環境整備事業	都　道　府　県	群馬県
ふりがな 地域（地区）名	あがつま 吾妻	事業実施主体	群馬県
関係市町村	中之条町、長野原町、東吾妻町、高山村	管　理　主　体	中之条町、長野原町、東吾妻町、高山村
事業実施期間	平成19年度～平成23年度（５年間）	完了後経過年数	５年

事業の概要・目的	①　位置等 　本地区は、群馬県の北西部に位置し、利根川水系の吾妻川流域に位置する３町１村からなる地区で、恵まれた森林地域の特性を活かした農林業と豊富な温泉資源を中心とする観光産業が盛んである。 ②　森林の状況 　本地区の森林面積は72千haで、人工林がおよそ半数の35千haを占めており、そのうち間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅧ齢級の森林は4千haで約11％を占める。 　また、水源かん養保安林が27千ha、土砂流出防備保安林が7千ha指定されており、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。 ②　本事業を実施する目的･意義 　林道等の路網整備は遅れており、適切な時期に森林施業が行われていないため、森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動により森林施業コストの低減を図りながら、森林整備を促進する必要があった。 　このため、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資することを目的として、路網が必要な森林において森林基幹道の整備を実施した。 （事業概要） 森林基幹道開設　かづまやません 吾嬬山線　車道幅員4.0m　開設延長5,169m　利用区域面積4,243ha きたやまほんせん 北山本線　車道幅員3.0m　開設延長　196m　利用区域面積1,629ha 総事業費　1,152,583千円　（当初総事業費　1,920,400千円）

①　費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	平成29年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 総便益については、事業採択以降に費用対効果分析の手法が見直されたことにより増加し、総費用については、労務単価や年間維持管理費の増加に伴い増加した。 総便益（Ｂ）　4,313,402千円　（事業採択時　3,676,332千円） 総費用（Ｃ）　2,430,217千円　（事業採択時　1,773,692千円） 分析結果（Ｂ／Ｃ）　1.77　（事業採択時　2.07　）
②　事業効果の発現状況	林道整備により森林施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、整備前５年間の森林整備面積約860haに対し、整備期間５年間で約1,340ha（1.5倍）の森林整備が実施されている。 集落間に位置する林道は、地域住民の重要な生活道として利用されている。
③　事業により整備された施設の管理状況	本事業により整備された林道は、中之条町・東吾妻町・長野原町・高山村が定めた林道管理規定に基づき適切に管理され、年数回の草刈りや側溝清掃、路面の整正等が行われ維持管理状況はおおむね良好である。なお、管理委託・料金徴収はしていない。
④　事業実施による環境の変化	林道整備により、林業従事者の作業効率改善や作業コスト低減が図られて、森林経営による収入が増加するため、森林組合からの施業提案を受け入れるなど森林所有者の森林経営に対する意識が向上してきている。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見られない。
⑤　社会経済情勢の変化	林道整備に伴い高性能林業機械が導入され、効率的な森林施業による労働力の軽減や通勤時間の短縮が図られた。森林施業の実施面積が開設前と比べ5割増加してきたことから、将来の木材供給源としての期待が高まってきている。

整理番号	森１－２

⑥ 今後の課題等	長期的な木材価格の低迷等により人工林の森林整備が十分でない状況にあるため、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発を行い、積極的に施業実施を促す必要がある。 また、本林道と連絡する林業専用道や森林作業道の整備及び施業の集約化を行い、効率的かつ低コストな施業を推進する必要がある。 （地元の意見） ・　林道整備により森林へのアクセスが改善されたため、適切な森林整備が図られ、木材生産機能や公益的機能が向上している。（群馬県） ・　当該地区４町村を結ぶ連絡道路として活用されると共に、森林資源の有効活用が図られ、町活性化の役割を果たしている。（中之条町） ・　大型機械による合理的な林業経営が可能となり、森林の有効活用が図られている。（長野原町） ・　林道を利用して、他地区の集落への移動や森林管理の利便性が高まった。（東吾妻町） ・　既存林道と連絡し、森林への移動が効率的になり効果的な森林整備が図られている。（高山村）
評　価　結　果	必要性：　森林整備を効率的に行うための基盤となる林道が求められている地域であることや、本事業施工後の森林整備により、水源涵養（かんよう）や山地災害防止等の公益的機能の発揮に寄与しており、必要性が認められる。 効率性：　現地の条件に応じた計画を作成し、工法比較により適切な擁壁等を選定することでコスト縮減に努め、費用対効果分析の結果、費用以上の効果が得られており、効率性が認められる。 有効性：　林道整備により森林へのアクセスや機能性が向上したことから、作業効率が良くなり、森林整備や木材生産が促進されており、事業の有効性が認められる。

整理番号　1

便　益　集　計　表

事業名：森林居住環境整備事業　　　　都道府県名：群馬県

地域(地区)名：吾妻（あがつま）地区　　　　（単位：千円）

大　区　分	中　区　分	評価額	備　　考
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	307,451	
	木材利用増進便益	112,607	
	木材生産確保・増進便益	486,813	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	40,539	
	森林整備促進便益	3,365,992	
総　便　益　(B)		4,313,402	
総　費　用　(C)		2,430,217	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,313,402}{2,430,217} = 1.77$		

（注）便益額算定方法は、代表路線を表示しています。

森林居住環境整備事業　吾妻地区（群馬県）位置図

凡	例
市町村界	
区域	
施工箇所番号	①～②
既設箇所	
施工箇所	
計画箇所	
①	森林基幹道 吾嬬山線
②	森林基幹道 北山本線